

平成24年 5 月 31 日

## 事業の評価書

池田市長 様

協議会名 鉢塚・緑丘地区コミュニティ推進協議会  
代表者名 山岡照幸



### 記

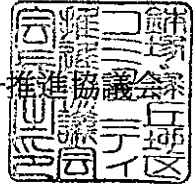
事業の名称	コミュニティ紙等発行事業
事業実施前の状況	例年、当コミュニティ推進協議会の提案事業、地域のイベント、防災キャンペーン等の内容で4000部を発行し、校区内の全戸配布を実施している。
事業実施後の状況	23年度は、花しょうぶ祭りでの野点復活、鉢塚公園のリニューアル、一部通学路のグリーンベルト化、カブトムシ育成講習会、音楽の宝石箱、水月手づくり市等の当コミュニティ推進協議会の提案事業の紹介のほか、防災キャンペーン、自転車事故防止キャンペーン、水月公園内の自然遊歩道完成紹介などを報じたHAMICを3回（毎回4千部）発行し、地域の全戸に配布した。
事業の効果	花しょうぶ祭りでの野点では、HAMICに印刷された高齢者招待券を利用された方が数十名あったほか、一部のニュースに係わる問い合わせがあるなど反響があった。
今後の課題等	今後も地域密着型の記事を報道し、地域活性化の一助とする。

平成24年5月21日

## 事業の評価書

池田市長様

協議会名 鉢塚・緑丘地区コミュニティ推進協議会  
代表者名 山岡照幸



### 記

事業の名称	地域掲示板設置事業
事業実施前の状況	従来、緑丘小学校区内の11箇所に掲示板を設置してきた。しかしながら、校区内で掲示板の少ない地域があった。
事業実施後の状況	アルビス緑丘東側の宅地開発地域および国道176号線南側の地域に掲示板を新設し、合計13箇所となった。
事業の効果	コミュニティ推進協議会からの情報発信および地域住民間の情報発信の場として活用されている。
今後の課題等	今後も当該掲示板を有効活用する。

平成24年5月31日

## 事業の評価書

池田市長様

協議会名 鉢塚・緑丘地区コミュニティ推進協議会  
代表者名 山岡照幸



### 記

事業の名称	地域イベント開催事業(花しょうぶ祭り移動動物園招致と野点の会)
事業実施前の状況	1) 例年開催されていた野点が、前年、開催されなかったため、菖蒲園周辺がさみしい雰囲気となった。 2) 移動動物園は、毎年、当コミュニティ推進協議会主催で実施してきており、好評を得ている。
事業実施後の状況	1) 23年度は、当コミュニティ推進協議会主催で野点を復活させたため、菖蒲園周辺が華やかな雰囲気となり、延べ862名の来園者に野点を楽しんでもらうことができた。また、地域の高齢者にとっても憩いの場となった。 2) 例年通り、移動動物園を開催し、多くの未就学児童が小動物との触れ合いを楽しんでいた。
事業の効果	1) 未就学児童から高齢者まで幅広い年齢層の来園者が楽しめる地域イベントとなった。
今後の課題等	1) 地域のビッグイベントを今後も活性化するため、これらの事業を継続させることが必要である。 2) 野点については、より多くの地元住民がスタッフとなり、運営を支えていく体制を構築する必要がある。

平成24年5月30日

事業の評価書

池田市長様

協議会名 鉢塚・緑丘地区コミュニティ協議会  
 代表者名 山岡照幸



記

事業の名称	ふれあい講習会開催事業
事業実施前の状況	1) 例年、夏は天体望遠鏡による星座観察、冬はプラネタリウムと天体望遠鏡による星座観察を行ってきた 2) 昨年、地域イベントのふれあいフェスティバルの一コーナーとして音楽の宝石箱を企画し、大阪音楽大学の協力を得て実施してきた。
事業実施後の状況	1) 屋外での星座観察に加え、体育館でのスライドショーや紙飛行機飛ばし大会を開催した。 3) 今回は、事前に緑丘小の協力を得て子供たちへ参加を呼びかけ、また、保護者（父親）に曲目選定を行ってもらうなどの準備を実施したため、関西を代表するオペラ歌手の生の歌声のほか、参加している子供たちや保護者世代に馴染み深い歌を全員で合唱した
事業の効果	1) 未就学児童から保護者まで幅広い年齢層の参加者延べ340名が楽しめる教育イベントとなった。 2) 約110名の参加者が、プロの迫力のある歌声を堪能した。また、親子に馴染みのある楽曲の合唱を楽しんだ。アンケートでも、来年の開催を要望する声があった。
今後の課題等	1) 地域の児童科学教育として、本事業を継続させることが必要である。 2) 子供から高齢者まで幅広い年齢層の方が楽しめる内容とする。また、参加者の更なる増加を図る。

平成24年5月31日

## 事業の評価書

池田市長様

協議会名 鉢塚・緑丘地区コミュニティー推進協議会  
代表者名 山岡照幸



### 記

事業の名称	ふるさと再発見講座開催事業
事業実施前の状況	1) 池田について学ぶのは、小学3年生以降の授業の中であるが、実地に現場へ出かける機会は限られている。 2) 緑丘小、附属小と地域の共催イベントは、従来もいくつかあったが、各校の複数の教員がボランティアで積極的に企画段階から参画するものはなかった。
事業実施後の状況	1) 児童の日常会話の中で、「ふるさと池田探検隊」で訪問した場所について語られるようになった。 2) 緑小1名、附小1名の教員が、企画段階から参画され、実施段階では緑小3名、附小2名の教員の協力を得た。
事業の効果	1) 児童の日常会話の中で見学先が話題となっていることから、一定度の効果があったと思われる。 2) 空港見学では、定員の5倍の応募があったため、抽選となった。本企画は、依然として多くの関心を集めている。
今後の課題等	1) 空港見学は、平日でしか実施できないため、夏休み期間中の事業としているが、学校行事と重ならないよう留意しながら、今後できるだけ実施回数を増やしたい。 2) 地域にある緑丘小、附属小を平等に扱う抽選を行ってきたが、その結果、緑丘小の児童の参加者数が少なかった。池田市の事業であることを考慮し、今後、緑丘小児童の参加機会を改善する。

平成24年5月9日

## 事業の評価書

池田市長様

協議会名 鉢塚・緑丘地区コミュニティ推進協議会  
代表者名 山岡照幸



### 記

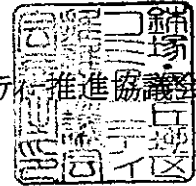
事業の名称	市民レクリエーション大会事業
事業実施前の状況	1) 例年、地域住民が気軽にスポーツに親しむ機会となるよう、また、住民の体力・健康づくりの場となるよう、緑丘小グラウンドにて運動会を開催している。
事業実施後の状況	1) 本年から、鉢塚・緑丘地区コミュニティ推進協議会の支援事業として開催し、多数の参加者を得た。
事業の効果	1) 子供から高齢者まで幅広い年齢層の参加者が楽しめる地域イベントとなった。
今後の課題等	1) 地域のスポーツイベントとして、本事業を継続させることが必要である。

平成24年5月31日

## 事業の評価書

池田市長 様

協議会名 鉢塚・緑丘地区コミュニティ推進協議会  
代表者名 山岡照幸



### 記

事業の名称	昆虫育成講習会実施事業
事業実施前の状況	1) 例年、緑丘小校区内でスタンプラリーを開催し、親子で身近な自然とのふれあいを深めてきた。 2) 例年、カブトムシ育成講習会を開催し、生命の大切さ・生命を育むことの素晴らしさを伝えてきた。
事業実施後の状況	1) 23年度は、五月丘小・秦野小・緑丘小の3校区のコミュニティ推進協議会共催で渋中校区内でのスタンプラリーを実施した。 2) 例年通り、3回のカブトムシ育成講習会を開催した。
事業の効果	1) 未就学児童から小学生までが、カブトムシ育成講習会を楽しむとともに、水月公園にカブトムシが飛び回るようになった。
今後の課題等	1) カブトムシ育成講習会を4年続けてきたため、参加者が減少傾向となった。次年度からは、クワガタムシに変更する。

平成24年5月31日

## 事業の評価書

池田市長 様

協議会名 鉢塚・緑丘地区コミュニティ協議会  
代表者名 山岡照幸



### 記

事業の名称	公園施設回収事業
事業実施前の状況	約40年前に造られた公園である為、遊具の老朽化が激しく、美観も悪いため公園利用者は少なかった。
事業実施後の状況	利用されていない旧式の危険な遊具を撤去し、高齢者用・幼児用の遊具を設置した。また、花壇を設置し、明るい公園・利用される公園に改修した。
事業の効果	公園全体が明るい雰囲気となり、遊具の利用も含め、従来より利用者が増加した。
今後の課題等	他地域の公園についても、検討を進める必要がある。



平成24年5月27日

## 事業の評価書

池田市長様

協議会名 鉢塚・緑丘地区コミュニティ推進協議会  
代表者名 山岡照幸



### 記

事業の名称	道路安全対策事業
事業実施前の状況	1) 大阪教育大附属池田小学校南側道路および東保病院前の道路は、緑丘小学校・附属池田小の通学路であるが、白線で輔車道の境界を示しているのみのため危険な状態であった。
事業実施後の状況	1) 大阪教育大附属池田小学校南側道路は緑丘小と附属小の、また、東保病院前の道路は緑丘小の「通学路」としてわかりやすくなった。
事業の効果	1) 舗道帯をグリーンベルト化したため、特に通行人とすれ違い際、車両がスピードを落とすケースが増えたようである。
今後の課題等	1) 地域内での同様の危険箇所について見当が必要である。 2) グリーンベルト上を歩くよう、児童たちに繰り返し指導することが必要である。